



会高同窓会報

No. 48

2018年(平成30年)
9月9日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会会報委員会：発行人：会津高校同窓会会長 新城 猪之吉
〒965-0831 福島県会津若松市表町3-1 ☎：0242-28-0211(代) F A X：0242-28-6680
同窓会HP <http://aizu-h-doso.com/>



平成29年度 同窓会総会

学ぶべき先人 「小林栄」先生のこと



会津高校同窓会 会長

新城 猪之吉
(高21回)

平成30年度の全国学力テストの結果が発表になった。福島県ならびに会津の成績は大変厳しいものだった。

各方面で素晴らしい活躍をされた日新館の流れをくむ会津の子供達の教育がこれで良いわけがない。会津の教育界の腐心と一層の努力を望むものである。どうせなら日本一を目指してほしい。日本酒も30年前は最低と言われていたが、その後指導者にも恵まれたことと、各蔵の努力で日本一と言われるようになった。やればできる！

ここで我が会津の誇る偉人、野口英世を育てた小林栄先生について触れてみたい。

先生は1860年、猪苗代に生まれ、福島師範学校を卒業後、猪苗代小学校に勤務した。先生が29歳の時、13歳の英世と出会った。その後彼の才能を伸ばすため高等小学校への進学をすすめ、親代わりとなって育てた。その先生の熱意があつて、英世は医者になるべく勉強に励み20歳で医者になった。会津若松での勉強中に会津中学一期生の写真の中に英世がいるのも興味深い。

小林栄先生は35年間の教員を辞めた後、猪苗代日新館を創設し猪苗代近辺の子供達の教

育活動にいそしんだ。残念ながらその学校は現在残っていないが、全ての基本は人材育成だとした先生の生涯は偉い。その中でも特筆すべきものとして、地方産業振興を目指していたことである。

全国的に行われたものであるが、猪苗代版として「地方村是の歌」というものを残した。

1 風光明媚で肥沃な大地であるこの地をよく耕して実り豊かな場所として独立自営しなさい。

2 農蚕の道を研究すると同時に、果樹栽培もすすめ、村の名を揚げて独立自営しなさい。

3 勤勉貯蓄をして朝夕家業を怠らず独立自営しなさい。

4 色々と困難なことも起きる。その時は組合を作りお互いに助け合い独立自営しなさい。

5 人材育成のための学校等つくる為に貯金植林等をして基金作りをし、独立自営しなさい。

6 山には植林をし、すべて地を耕し、文明の利器等を使い、楽しく農業して独立自営しなさい。

7 村の進歩のために青年会や品評会等を行い、老幼男女分け隔てなく勉強し合い独立自営しなさい。

8 先祖を敬い家族仲良く、幸多い村となるよう独立自営しなさい。

「小林栄」書中の「地方村是の歌」を要約
先生は、素晴らしい行政マンであつたことも伺える内容である。この先生だったから偉人野口英世が育つたのだろう。会津には、まだまだ学ぶべき先人がいる。

一昨年4月以来、校長として母校での勤務3年目となります。同窓会の皆様には、常日頃より母校に對しまして、多大なるご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今年も新年度が始まって以来、恒例応援歌練習、OBによる剣舞委員会への指導を経て、4月24日には飯盛山白虎隊士墓前での剣舞奉納、27日には中田浜の強歩大会が無事終了しました。

今まで通り、伝統の行事も大切にしながら、2年後に迫った130周年に向かって新しい会津高校を作りたいと考えております。

次に、進路の状況ですが、この春の卒業生は、国公立大学に現役97名の合格、東京大学の合格は現役1名に止



「文武両道」

校長 山内 正之

まりましたが、県立医大は現役5名（浪人1名）の合格を果たし、その中に応援団長、生徒会長が含まれており、新聞紙上でも取り上げられました。奈良女子大への本校初の合格、新潟大17名、会津大8名はそれぞれ県内トップであります。学習と部活動との両立を果たし、文武両道を実現した生徒の活躍が目立ちました。（東北大・バレー、筑波大・野球、大阪大・バスケット等々）さらなる国公立大学合格者の増加（3桁の維持）、私立大学の底上げ、そして、特に本校に求められる難関大学への合格に向けて取り組んでいきたいと考えております。

また、部活動におきましても、合唱部が全日本合唱コンクールにおいて7年連続11回目の金賞、第2位相当の大阪府知事賞を獲得しました。また、陸上競技部、端艇

部がそれぞれ全国インターハイへ出場しました。（端艇部は全国選抜にも出場し5位入賞）、他に野球部が夏の県大会でベスト16に進出し、3年生を中心に貴重な青春の思い出をつくることができました。

さらに今年度も端艇部、なぎなた部、陸上部が、全国インターハイの出場を決めております。もちろん、他の部活動においても生徒たちは熱心に取り組んでおり、文武両道を目指してがんばっております。

また、「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」は、終了しましたが、そのレガシーを活かし、東北大学研修（1年生全員）、論文研修、そして、県の補助等も活用しながら、アメリカ研修、沖縄研修を実施する予定です。

最後に昨年と同じ話を書かせて頂きます。生徒の活躍に伴い、生徒の派遣経費が増大し、生徒会活動後援会の積立残高が心細い状況となつてしまいました。今後もクラス減が進行する中、生徒への補助率の削減等、自助努力をいたしますが、同窓会にはよりいっそうのご協力をお願いするようになると思われます。その時にはなにとぞよろしくお願い申し上げます。

いずれにいたしましたが、生徒たちがこのように生き生きと学校生活を送ることができそうです。同窓会の皆様の温かいご支援があるからであると改めて感謝申し上げます。

今後とも、母校へのご支援・ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

■山内 正之先生プロフィール

昭和33年生れ 高29回卒。
勤務地。県立聾学校。田村高校。安積高校。福島女子高校（橘高校）。県教育庁指導主事。会津学鳳高校教頭。白河旭高校教頭。県教育庁企画主幹。会津学鳳中・高校長。現職

目次

学ぶべき先人「小林栄」先生のこと 同窓会長 新城猪之吉

「文武両道」 学校長 山内 正之 2 1

平成29年度総会報告 3

平成29年度会務報告・平成30年度事業計画案 4

平成29年度決算報告 平成30年度予算案 5

四地区から
在京地区同窓会 6
関西地区同窓会 7
中部地区同窓会 8
北海道地区同窓会 9

支部活動
塩川支部・南会津支部 10
下郷支部・会津美里支部（旧会津高田支部） 11
猪苗代支部・河東支部・湯川支部 12

同窓生寄稿
「蜂・わが人生九十二年」 13
烟敬之助・洋子「ご夫妻出版記念」
大竹 忠信（高11回）

学年便り
中51回・中52・53回・中55回・高2回・高4回 14
高5回・高6回・高13回 15
高14回・高19回 16
高21回・高24回・高28回 17

平成29年度同窓会総会報告

29年度同窓会総会は9月10日（日）ワシントンホテルで開催され、250余名の参加があった。

総会に先立って、10時30分より母校「やすらぎの碑」前にて、この1年間の物故恩師・会員のご冥福を祈って、恒例「献花式」が30余名の参列のもと行われた。

総会は12時30分開会。黙祷、校歌斉唱、会長挨拶の後、母校校長（山内様）・PTA会長（佐藤様）・会津若松市長（室井様）のご祝辞が続ぎ、議事に入った。

議長は高32回が当番で福西正樹氏が選出された。まず、28年度会務報告・決算会計報告・監査報告が承認された。（別掲）

次に、役員改選では、事務局案が提示され、承認された。現役員は全員残留継続の熱意を示し、新役員として、副幹事長に久力奏音氏（高61回）星宏氏（高36回）小沼俊之氏（高38回）の3氏が加わった。男女共学制が導入されて、既に15年が経ち、女性役員の活躍が期待されている。引き続き、29年度事業計画案、予算案、が提案審議され、満場一致で承認された。また、「協賛金」の現状説明と、その協力呼びかけがあり最後に「学而さくら会」より同窓会へ金一封の贈呈があつて、すべての議事終了となった。

記念講演会は13時30分より「3・11東日本大震災での災害医療」を手探りの気仙沼市立病院の対応と題して、横田憲一氏（高28回）が、現地での生々しい災害現場の映像を写しながら、ご自身の医療対応の体験等を語られた。

懇親会は会場を移して15時より行われた。まず、来賓を代表して、在京同窓会長大越康弘氏（高13回）のご祝

辞、北海道同窓会長原健蔵氏（高8回）による乾杯のご発声で、祝宴となった。

宴もたけなわとなったところで、東京農大応援団長を勤めた大学4年小平達也君（高64回）のエール披露があり、木村豊氏（高27回）の指揮で凱旋歌、永田幸芳氏（高13回）の三三七拍子乾杯の拍手で、ピークとなった。副会長須田敬氏（高12回）の中締めにより、来年の再会を祈念して全ての終了となった。



総会受付風景



横田憲一氏



大学4年、小平達也君（高66回）のエール

母校は今

平成30年進路一覧

部活動の報告

部活動成績

私のアメリカ研修 2年3組 齋藤晃朗

平成30年度・学校職員人事異動

「学而出版委員会」報告 山田優芽

同窓会「会長杯」

○ゴルフ大会

・ゴルフ成績表

○囲碁大会

・囲碁成績表

○将棋大会

・協賛企業一覧

平成30年度協賛金納入者名

27・28・29

同窓生寄稿

「会津若松市立美術館の建設を望む」

樋口朝亭（本名文治）（高17回）

お祝い・おくやみ

同窓生寄稿

「裏山への誘い」

林 敬幸（高27回）

会報編集委員・編集後記

32

31

30

29

29

26

25

24

23

23

22

20

19

18

平成29年度事業報告

1. 平成29年度 総会
日 時 平成28年9月10日（日）
午後12時30分～午後17時
場 所 会津若松ワシントンホテル
出席者 255名
記念講演 横田憲一氏（高校28回）
演題「3.11東日本大震災での災害医療」
2. 物故会員追悼慰霊祭
日 時 平成28年9月10日（日）午前10時30分
場 所 母校前庭「やすらぎの碑」前
物故会員 恩師1名 会員66名
3. 支部・地区総会
会高県職員親睦会総会 平成29年 7月 3日（月）
南会津支部総会 平成29年 7月 5日（木）
会津坂下支部総会 平成29年 7月14日（金）
河東支部総会 平成29年 7月22日（金）
市役所職員同窓会総会 平成29年11月 2日（木）
塩川支部総会 平成29年11月 4日（土）
下郷支部総会 平成29年11月11日（土）
猪苗代支部総会 平成29年11月23日（木）
湯川支部総会 平成29年11月25日（土）
会津美里支部総会 平成30年 5月12日（土）
関西同窓会総会 平成29年11月 4日（土）
在京同窓会総会 平成30年 4月15日（日）
北海道同窓会総会 平成30年 5月19日（土）
中部地区同窓会総会 平成30年 6月 9日（土）
4. 会報発行
第47号同窓会報
発行部数6,400部
5. ホームページ開設
6. 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
開催日 平成30年5月5日（土）
第9回ゴルフ大会 178名参加 「会津磐梯CC」
第8回囲碁大会 25名参加 「ルネッサス中の島」
第6回将棋大会 9名参加 「ルネッサス中の島」
7. 激励金贈呈（全国大会出場クラブ）
端艇部 9万円（出場者 6名）
陸上部 13,5万円（出場者 9名）
社会弁論部 15万円（出場者 15名）
水泳部 1万円（出場者 1名）
合唱部 100万円（出場者 77名）
8. 学校行事出席
第70回卒業式 平成30年 3月 1日（木）
母校離任者送別会 平成30年 3月26日（月）
平成29年度入学式 平成30年 4月 9日（月）
母校着任者歓迎会 平成30年 4月27日（金）
中田浜強歩大会応援 平成30年 4月27日（金）
9. 各種団体行事出席
戊辰殉難者秋季祭 平成29年10月23日（土）
白虎隊士秋季墓前祭 平成29年10月24日（日）
戊辰殉難者春季祭 平成30年 4月23日（月）
白虎隊士春季墓前祭 平成30年 4月24日（火）
10. 定例幹事会
第1回定例幹事会 平成30年 5月26日（土）
第2回定例幹事会 平成30年 8月 4日（土）
11. 各委員会
会報委員会 随時開催
名簿委員会 随時開催
H P 委員会 随時開催
12. 会計監査 平成30年 7月17日（火）
13. 役員会 随時開催

平成30年度事業計画(案)

平成30年	平成31年
7月 3日（火） 南会津支部総会	2月中旬 130周年実行委員会設立準備会
7月 6日（金） 会高県職員親睦会総会	3月 1日（金） 第70回卒業式
7月17日（火） 会計監査	3月下旬 母校離任者送別会
7月22日（日） 河東支部総会	4月 8日（月） 平成31年度入学式
7月23日（月） 激励金贈呈（端艇、陸上、なぎなた）	4月14日（日） 在京同窓会総会
7月25日（水） 会津坂下支部総会	4月23日（火） 戊辰殉難者春季祭典
8月 4日（土） 第2回定例幹事会	4月24日（水） 白虎隊士春季墓前祭
8月17日（金） 会報委員会	4月下旬 会津高田支部総会
9月 9日（日） 平成30年度総会	4月26日（金） 中田浜強歩大会応援
〃 物故会員追悼慰霊祭	4月26日（金） 母校着任者歓迎会
〃 第48号同窓会報発行	5月 5日（日） 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
9月23日（日） 戊辰殉難者秋季祭典	5月中旬 第1回定例幹事
9月24日（月） 白虎隊士秋季墓前祭	5月下旬 北海道同窓会総会
10月中旬 市役所職員同窓会総会	6月中旬 中部地区同窓会総会
10月下旬 下郷支部総会	7月下旬 会計監査
11月上旬 塩川支部総会	8月中旬 第2回定例幹事会
11月上旬 関西同窓会総会	9月 8日（日） 平成31年度総会
11月中旬 湯川支部総会	〃 物故会員追悼慰霊祭
11月下旬 猪苗代支部総会	〃 第49号同窓会報発行
	※ 役員会並びに各委員会随時開催

平成29年度決算報告

(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

一般会計

収入総額 5,126,234 円
支出総額 3,624,335 円
差引残高 1,501,899 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	825,885	事務局費	166,844
入会金	1,355,000	総会費	122,792
協賛金	2,383,460	会報発行費	597,888
雑収入	561,889	会合経費(地元外)	752,910
繰入金	0	会合経費(地元)	118,172
		慶弔費	17,384
		卒業記念品費	251,705
		会議費	15,000
		通信費	53,650
		基金(入会金)	1,355,000
		手数料	83,890
		雑費	89,100
		予備費	0
合計	5,126,234	合計	3,624,335

以上報告致します。 一般会計幹事 川島香織(高58回)

基金会計

収入総額 26,978,660 円
支出総額 1,385,000 円
差引残高 24,593,660 円(次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	24,619,740	全国大会出場激励金	1,385,000
繰入金(一般会計より)	1,355,000		
預金利息	3,920		
合計	25,978,660	合計	1,385,000

財産目録 普通預金 9,451,759 円
定期預金 15,141,901 円
計 24,593,660 円

以上報告致します。 基金会計幹事 古川和則(高41回)

会報委員会会計

収入総額 695,553 円
支出総額 334,941 円
差引残高 360,612 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	394,050	会議費	33,500
広告収入	300,000	通信費	180,320
雑収入	3	取材費	9,841
会費	1500	事務用品費	71,280
		立替金	20000
		合本積立金	20000
合計	695,553	合計	334,941

会報合本積立金合計 100,000 円 (定期預金5件)

以上報告致します。 会報委員会会計 伊藤 顕(高46回)

名簿委員会会計

収入総額 739,489 円
支出総額 0 円
差引残高 739,489 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	739,483		
預金利息	6		
合計	739,489	合計	0

以上報告致します。 名簿委員会会計 千葉宏(高8回)

会計監査報告

監査の結果、「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について適正に執行されていることを認めます。

平成30年7月17日

監事 宮澤洋一(高26回)

平成30年度会計予算(案)

(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

一般会計

収入

(単位:円)

科目	金額	備考
繰越金	1,501,899	前年度繰越金
入会金	1,360,000	5,000円×272名
協賛金	2,400,000	
雑収入	50,000	利息等
繰入金	300,000	
合計	5,611,899	

支出

(単位:円)

科目	金額	備考
事務局費	200,000	事務用品費、役員名刺等
事業費	80,000	学校事業補助
総会費	150,000	同窓会総会補助
会報発行費	600,000	会報印刷費
会合経費(地元外)	700,000	在京、関西、中部、北海道総会
会合経費(地元)	100,000	支部総会、墓前祭
慶弔費	20,000	花環代
卒業記念品費	250,000	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	役員会会場費等
通信費	60,000	切手等
HP作成管理費	700,000	作成費、管理費
基金	1,360,000	基金会計へ(入会金)
手数料	90,000	協賛金振込手数料
雑費	100,000	広告代
予備費	1,101,899	
合計	5,611,899	

※科目間の経費の流用は会長一任

会計幹事 川島 香織(高58回)

在京同窓会

「戊辰一五〇周年に思う」

会長 大越 康弘（高13回）



が、朝敵の汚名を雪がれ悲劇を招いたと多方面から同情を受けている。今一五〇周年を迎え、同情を抱かれるだけでいいのであろうか。

戊辰戦争で会津は国を失い、戦いで幾多の武士が死に、家族等も大勢が犠牲となった。また戦後は不毛の地斗南に追いやられて塗炭の苦しみを受けた。この戦いに敗れ、犠牲を払い、苦しみを味わうことになったのは、薩摩・長州のせいであり、許せないというだけではないのだろうか。

幕末の歴史を眺めると、当時列強は中国に進出してアヘン戦争で清の領土を占領して植民地政策を強要していた。このような状況にあつて黒船の来航、通商条約の強要へと推移し、武力を背景に開国を求める列強に対し、国を守る対応策をどうするか、未曾有の国難の中で、天皇から国の施政権を委任されている譜代大名中心の徳川幕府はその責めを本当に果たせるのかという危機感が指導層の中で強かったように思う。

その中で会津藩は、先ず老獪な幕閣達から主君への忠義の遺訓の下に京都守護職を押し付けられ、禁門の変後は嘗ての同盟薩摩藩に裏切られ、幕府軍による二次長州征伐においては江戸幕臣から疎まれ、孝明天皇の信任厚かったものの次の天皇に受け継がれず、最後は統率力な

くひらめき型で変り身の早い英君徳川慶喜からも離反され、裏切られることになった。また戊辰戦争では奥羽越列藩同盟で団結したかに見えたが、結局諸藩が抜け落ち会津藩は孤立して最後を迎えた。戊辰革命戦争とも言ふべきものだろう。

これは会津にとつてまさに歴史上の悲劇のように見えるのだが、これは何に寄るのだろうか。やむを得なかったのであろうか。会津としても、このような悲劇、悲運を避けるため歴史の過程の中で何かを成すことはなかったのか、それは何であつたろうか。そういったことを考え、歴史に学びながら、これからの会津の発展に生かしていくべきではないかと思う。



会津歴史探訪 旧滝沢本陣にて

「活動状況」

幹事長 山寺 清蔵（高17回）

【総会】

毎年4月の第3日曜日に、上野精養軒で行っています。

今年は61回卒の女性を副幹事長に補充選出して世代交流会や学生・若手社会人セミナーの充実を図り、若手や女性会員の拡大を目指しています。懇親会は地元会津の条例にもとづき日本酒で乾杯、宴もたけなわとなると会場内のあちこちで歓談の輪が広がりました。

【会津学生・若手社会人セミナー】

5月19日に実施しました。首都圏の大学に進んだ学生や若手社会人の就活やキャリア形成に役立てようと立ち上げて今年で2回目です。会津学生寮の寮生に同期生を誘ってもらうなど、学生達への案内に苦労しています。同窓会員のお子様方で首都圏在住の方々に、在京同窓会でこんなことをやっていると声を掛けていただけると有り難いです。事務局に連絡いただければ、案内状を送ります。

【会津歴史探訪の旅】

14回目の今年は藩祖正之公の表舞台第一歩の地となった山形と会津や二本松の戊辰戦争戦跡を訪ねました。

【文化講演会】7月4日、渡部恒雄氏（高34回、笹川平和財団上席研究員）に「日本の外交、安全保障戦略を考える」と題して熱く語っていただきました。

【その他の催し物】（開催予定順）

親睦囲碁大会、芋煮会、歩こう会、川島杯ゴルフ大会、新春麻雀大会、世代交流会など



学生会員の校歌応援歌

関西同窓会

「故郷会津を教育・人材育成の拠点へ」

会長 管家 大幸^{だいこう}（高14回）



戊辰150周年を迎えた地元会津の皆様を取り組みを目にして、改めてこの150年の歴史に思いを馳せている処です。そうした中、今春の母校の大学進学も健闘したとの報告を耳にしました。中でも「進学中にスポーツなどのクラブ活動で活躍した学生たちが進学でも大健闘した」とのことである。まさしく「文武不岐」の校風が生きている証左であろう。こうした事を踏まえて、会津の地を「教育・人材育成の拠点」とする提案をしてみたい。

第一は、近年の学区制などの地域的制約を解放する方向に沿い、会津高校も広く県内・県外からの入学を受け入れるべく（既にそうなっているのかも知れないが）、全寮制の施設を完備し、3年間を学業とクラブ活動に専念できる環境を作る提案である。この年代の3年間は、何も便利な都会で過ごす必要はない。むしろ、都会の喧騒を逃れて文武に集中し、高校卒業後に大きく世界に羽ばたく力を養うことの意味は大きいと思われる。学生自身もまたご両親もそうした環境下で勉学に励むことを大いに歓迎するのではないだろうか。江戸時代より有為の人材を世に輩出して来たことで知られる会津の土地柄は、これに相応しい伝統を有していると言いきである。勿論この全寮設備は広く市内の他の高校とも共有すべきことは言うまでもない。

第二は、「寺子屋塾」の復興である。現在の「進学」中心の教育体系を崩すことは難しいと思われるが、この偏りを補う意味で、これと並んで「人格形成」更には「学問することの面白さ」を幼少時代（幼・小・中学）に教える道はないものかと考えた時に行きつくのが「寺子屋塾」である。知識も人生経験も豊富な現役生活を終えた民間企業や教育に関わってきた諸氏の力を生かし、場所

はお寺の本堂などの提供を受けることも一案であろう。
第三に「大」会津高校の実現を望む。全国的に少子化が進む中、関西の高校でも廃校になるケースが起きている。我が母校も今春1クラス減らしたと聞く。そこで追い込まれてからの統廃合ではなく、早めの積極的攻めの統合を提案したい。たとえば、全てが男女共学となつた今、会津高校と旧会津女子高校（現葵高校）とを統合した「大」会津高校の構想等は如何であろうか。両校にとつても意味のあることと思える。これらと、現在推進中と聞くIT技術の集積地とする構想と重ね合わせれば、育成した人材の流出の危惧など恐れることはないと思うが、これは樂觀に過ぎようか。
(了)



「活動状況」

幹事長 佐々木 繁（高20回）

関西同窓会は、現在約80数名の会員を擁している。主な活動は、総会、散策会、定例懇談会、他地区同窓会との交流である。発足以来四半世紀が過ぎ、活動は定着化してきたが、会員の高齢化が進み、若い世代の参加者が少なくなってきたのが、現下の課題である。

(1) 第25回総会

平成29年11月4日（土）、「ホテルプリムローズ大阪」で総勢42名の参加を得て開催。当会の総会は、関西地区に進学している大学生を招待し、激励することを開催趣旨の一つとしており、今回も京大・阪大・大阪府大・同志社・神戸薬科大で学ぶ学生諸君13名が参加してくれた。総会に先立つ「会員スピーチ」は、佐藤 洋様（高15回）から、「人間万事塞翁が馬」と題し、東大卒業後の研究内容の紹介や、69歳で弁理士として起業し「生涯現役」を目指す「会津っば」の姿を披露して頂いた。生涯現役を目指すその姿勢に、現役学生、会員一同、希望と勇気を頂いた。

総会後は、松本保雄幹事（高15回）の司会で進行。議案を滞りなく承認し、その後、本部同窓会副会長の戸川稔朗様、山内正之校長から来賓挨拶を頂いた。本部運営協力への謝辞や活動状況と学生の進学状況やクラブ活動での活躍についてご紹介があった。現役学生の文武両道での活躍に会員一同、誇らしい気持ちで拝聴した。

議事を終了し、懇親会は石山雄一様（高3回）の乾杯で開始。在京同窓会の佐々木毅副会長や本部相談役の千葉宏先生のスピーチに続き、上野信様（高14回）の詩吟を楽しみ、学而会歌、凱旋歌を合唱し一次会を終了した。

(2) 散策会

第1回「京都大原野勝持寺とその周辺」、第2回「箕面公園周辺」、第3回「仙洞御所とその庭園」を散策。毎回10名程度の会員が参加し、散策後の打ち上げも恒例である。

(3) その他の活動

そのほか、「定例懇談会」を年5回実施。各地区同窓会総会への出席や、恒例の会高生による黒谷での剣舞奉納に参列し、激励を行った。

四 地 区 か ら

中部同窓会

「活動報告」

幹事長 林 誠三郎 (高19回)

第31回中部地区同窓会総会は、平成6年から恒例となっている会津女子高校同窓会(松操会)との合同の形で、平成30年6月17日(日)12:00より開催いたしました。昨年同様、再開発が進む名古屋駅前のホテルで日中の開催といたしました。会津や関西からの来賓を含めて総勢24名が集いました。

総会に先立ち、恒例となった特別講演会を実施しました。今年は会高側が当番なので、林誠三郎幹事長(高19回)による『私の人生夢芝居』と題し、写真画像による紙芝居が行われました。今年は戊辰150年にあたり、演者の曾祖父が明治2年に会津若松で友人と写されたガラス乾板写真を紹介されました。これには参加者の皆さんは、ビックリされた様子でした。他にも昭和30年代の幼い頃のスライド写真や東日本大震災後の鶴ヶ城の風景なども紹介されました。

司会進行役は会高鈴木幸喜さん(高21回)、と会女岩淵さち子さん(高18回)が務めました。総会は、大内哲男前会長(高13回)の開会宣言。小林秀明会長(高15回)の挨拶。つぎに、林誠三郎幹事長(高19回)より活動報告及び会計報告がありました。さらに、恒例になりました秋の芋煮会の報告と写真の紹介がありました。佐藤信恭監査役(高7回)から監査報告が行われました。総会議題は、満場一致の拍手を持って承認され総会は滞りなく終了しました。

次に来賓として、一昨年4月に校長に着任された山内正之校長(高29回)から母校の進学状況や運動部の活



から会津の現状と、同窓会から在校生への活動支援を積極的に進めている話などがありました。

その後恒例になりました集合記念写真の撮影を行いました。

安西廣恭氏(高10回)の乾杯の御発声で懇親会に移りました。酒は会津から取り寄せた地酒で一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を懐かしむことしきり。そして両校の校歌斉唱や会津を思い出しの「ふるさと」、小池秀夫顧問のハーモニカ、懇親会会場には、昨年に開催し恒例になった大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。最後には会津磐梯山の盆踊りで盛り上がりました。

動状況および新しい取り組みなどが紹介されました。とくに部活動が好成績を挙げて、遠征費が枯渇しつつある嬉しい悲鳴と同窓会への協力要請がありました。

管家大幸関西会高同窓会会長(高14回)から活動状況や戊辰150年の京都黒谷での墓前祭と剣舞奉納の様子が紹介されました。最後に林健幸副幹事長

大東祥順氏(高5回)の幹事
万歳三唱で無事に総会と懇親会を終えることができました。
幹事 鈴木幸喜(高21回)
監査役 大東祥順(高5回)
監査役 佐藤信恭(高7回)
顧問 谷 玄信(高5回)

中部支部役員(敬称略)
会長 小林秀明(高15回)
幹事長 林誠三郎(高19回)
幹事 大島暁爾(高18回)
幹事 星 金次(高19回)
顧問 山田俊作(高5回)
顧問 安西廣恭(高10回)
顧問 小池秀夫(高13回)
顧問 大内哲男(高13回)
顧問 馬場宏衛(高17回)



平成29年 芋煮会

北海道同窓会

「10周年所感」

会 長 原 健 蔵 (高8回)



北海道同窓会は、平成21年5月30日の第1回総会にて「会中・会高北海道同窓会」を正式名称として発足しました。

同窓会の目的は、会員相互の親睦と、母校の隆盛を図ることの2点であります。爾来10年、平成30年5月19日の第10回総会を、めでたく、無事に迎えることができました。

会員数は発足時点で27名。入れ替わりはありましたが、現時点でも27名と同数であります。

この間、毎年、総会・懇親会、歴史探訪、芋煮会、ビールパーティーなどの行事を通じて、会員相互の交流と親睦を図ってきました。

わが同窓会の歴史はまだ10年ですが、発足時の経緯をお聞きますと、初代幹事長で、現監事の間部賢司氏(高13回)の孤軍奮闘によって誕生したようです。同氏によると、次のような誕生秘話がありました。

- 北海道同窓会の設立を目指して、会津高等学校同窓会名簿より、北海道在住の会員をピックアップして一覧表を作成
- 設立発起人を選ぶべ



く、福島県人会事務局等を訪問して、適任者の選考。その結果、太田原高昭北大名誉教授(高10回)を適任として、同氏に相談し同意を得た。

●北海道同窓会へのご案内と設立総会の開催。結果、北海道同窓会が正式発足。太田原会長、真部幹事長を中心とした役員体制が承認されました。

北海道同窓会10周年にあたり、真部会員の以上のご努力とご苦労にあためて敬意と感謝を申し上げます。今後も同窓会の継続発展に、会員の皆様共々、努力して参りたいと強く思っているところであります。

結びに、昨年他界されました太田原前会長におかれましては、初代会長としての9年間のご苦労にあためて感謝申し上げます。

「活動報告」幹事長 高橋 孝一(高22回)

【総会・懇親会】平成21年(2009年)の北海道同窓会設立以来、第10回の節目となる総会は平成30年5月19日、初参加3人を含む26人の出席を得て札幌第一ホテルで開催した。

総会に先立ち、前年8月に77歳をもって他界された前会長、太田原高昭さん(高10回)と、兼子達夫さん(高2回、29年3月に85歳で死去)に黙祷を捧げた。

総会では会務・会計報告と事業計画、予算案をそれぞれ承認した。総会には本校同窓会の新城猪之吉会長(高21回)と穴澤耕二副幹事長(高24回)、さらに山内正之校長(高29回)、会津高元教諭で北海道総会常連の千葉宏氏(高8回)、山口光彦氏(高30回)が出席された。



講演中の千葉宏先生

このあと会津女子高同窓生が加わった講演会は、来賓の一人で会女教諭も務めた千葉宏先生(高8回)に講師をお願いした。千葉先生は昭和60年(1985年)から30年間、会高に勤務。同窓会担当も長く務め、北海道総会には10回中、9

回出席していただいている。

演題は「同郷の絆 同窓の絆」。自ら筆を執った演題と「創立10周年を祝う」の書を書き、剣舞委員会顧問としての活動や各地同窓会の様子などを披露しつつ「和やかな雰囲気をつつまでも保ち続けてほしい」と励ましてくれた。

なお今総会の初参加者は次の通り(敬称略) 小澤弘和(高49回) 室井沙月(高68回) 笠井椋太(高69回)。若い会員が加わってくれることはうれしく、心強い。

【芋煮会】平成29年の芋煮会は9月30日、札幌都心のレンタルスペースを会場に会高、会女同窓生ら23人が参加して開催した。会津から調達した里芋など持ち寄った食材の調理など、準備段階から会話が盛り上がり、あつという間に予定時間が過ぎる楽しく、にぎやかなイベントとなった。

【歴史探訪】平成29年の歴史探訪は10月28日、札幌の「山鼻屯田」をテーマに12人の参加で実施した。前々年の「琴似屯田」に続く屯田兵村シリーズ。中央区内で会津藩士の子孫らが守る山鼻屯田記念会館を訪ねて学習したあと、兵村開設記念碑や練兵場跡、屯田兵招魂の碑などを歩き、紅葉の中島公園内にある開拓使時代の洋風ホテル「豊平館」(国指定重要文化財)をじっくり見学した。

【その他】夏の恒例行事、ビール会を平成29年は7月22日、平成30年は7月21日に札幌市内で催した。



ビール会

支部活動

塩川支部



29年度の塩川支部総会は11月4日喜多方市塩川町の「粹旬」で行われました。来賓として同窓会本部から太田幹事長、隣接の湯川支部から高橋新支部長をお迎えし、支部会員28名の出席のもと開催されました。

物故会員への黙祷のあと、會津中学及び會津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、太田幹事長及び高橋湯川支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、28年度事業報告及び決算報告、29年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定されました。

総会終了後、本年度入学の新入生9名に対して、支部長から祝福と激励を兼ねた記念品(図書券)の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。

続いて参加者全員による記念撮影のあと親睦会が盛大に行われました。新入生の中に東大卒の先輩の話を聴いていました。参加者は、相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

南会津支部

伝統ある南会津支部平成30年度定期総会を7月3日本部から副会長竹田政弘氏をお迎えし、支部会員33名が出席して町内の丸山館で開催しました。

物故会員の黙祷後、渡部雅俊(高14回)支部長は、私達は日々血・地・学・職・好・志の「縁」で生活している。

地域では同じ「緋緘鎧う

若武者が」を唄った「学縁」の絆を一層強くして、地域貢献を含めて、本会組織の強化・拡大を図ることが、本会の更なる発展となることと決意を話した。

引き続き竹田副会長からは母校の近況報告がありました。後輩諸君が各分野の全国大会等で活躍している事は、私達が学んだ「好学愛校文武不岐」の精神が脈々と継承されていることなので、おおきな喜びを感じた。

さて、議事では、平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画及び予算が原案通り議決された。

懇親会は、渡部勝善氏(高8回)の乾杯のご発声で開宴し、先輩・後輩との親睦交流を深め合った。

近年各団体や機関等で会員数が減少傾向にある中で、当支部では、今回4名の加入者があった。支部の組織強化が大いに期待されるところです。

ふるさと愛・母校愛などは、地域で生活や仕事をす

る上での基本なので「地縁・学縁」を大切にしながら地域貢献に結び付けて欲しいと思っています。

恒例の校歌・飯盛山の櫻花♪学而会歌…ああいかに

せん我が友よ♪を全員で声高らかに歌い「学縁」の絆を確認して総会・親睦会はお開きとなった。

支部長渡部雅俊(高14回)記



下郷支部

平成29年度総会は、11月11日（土）、割烹「鯉川」で開催しました。

総会は物故者への黙祷の後、河合政弘下郷支部長の挨拶後、同窓会本部の須田敬副会長、学校の佐竹正徳教頭先生より、ご祝辞並びに本部活動状況や後輩達が全国大会等で活躍している様子など近況報告をいただきました。

28年度事業報告では、第1回下郷支部パークゴルフ大会の開催や新入生激励会が実施されたことが報告されました。その中で総会や会員の親睦を図る事業への参加者を多くすることが課題であることが確認されました。

次に29年度事業計画・予算案が協議され原案通り承認されました。総会後、懇親会が行われ、在学時代の話題等で楽しいひとときを過ごしました。



平成29年度 会津高校同窓会下郷支部総会 平成29年11月11日 於・鯉川

平成30年6月19日、支部長と事務局長で母校を訪れ、山内正之校長先生と4名の新入生に図書カードを贈り、激励しました。

6月23

日、第2回下郷支部パークゴルフ大会を開催し、懇親会で盛り上がりました。次年度は更に参加者を増やし会員の親睦を図りたいと考えています。

事務局長 湯田嘉朗（高22回）記



会津高田支部

組織を拡大し、

会津美里支部

に

会津高田支部総会は、5月12日（土）、千葉宏同窓会相談役、鈴木康友教頭、渡部英敏会津美里町長（高11回）を来賓にお迎えし、24名が参加して、「宮廻」で開催された。

新田銀一支部会長（高22

回）が、「校歌では学生時代に大変苦労した思い出があるが、この場で歌えるのは大変嬉しいことだ。同窓生の絆を強めていきたい。」と挨拶した。

同窓会相談役の千葉宏氏（高8回）は、「二年先に創立百三十周年を迎える。学而ホールの修繕とホームページの立ち上げを計画している。協賛金の協力をお願いしたい。」と挨拶した。続いて渡部町長より、「甲子園の応援は、会津若松駅までだった。同級生に会うと病気の話にばかりなる。歳は同じなのに、私は若いと言われる。同じ門をくぐった同窓生として今後もよろしく願います。」と挨拶した。

続いて、鈴木康友教頭（高33回）からは、「少子化の影響で一学年六クラスの二百四十名となった。現在は若干男子生徒が多い。進路状況では、国公立97名だった。学生数も減っているが、国公立合格者3桁、私立の底上げを目標にしている。部活動についても、引き続き

き同窓会の皆さんの支援をお願いしたい。」と母校の現状について話された。

その後、木崎稔氏（高27回）を議長に選任し、会務報告、決算報告、行事計画、予算案、そして平成17年の

町村合併時から検討していた、会津高田町居住の会員要件を会津美里町とする規約改正について審議した。同窓生の交流が広くなることは大いに賛成である、などの意見もあり承認された。観桜会では、会津美里町



会津高等学校同窓会会津高田支部総会

猪苗代支部



が今年の高8回卒の小松山新一氏、諏訪俊英氏の2名に贈られた。

今年度は一部規約改正が提案された。第6条では副幹事長一名であったが、組織運営の充実を図るため複数名にし、筆頭副幹事長を置くという改正案が提案され承認された。総会終了後例年通り講演会が行われ町内出身の元高校教諭鈴木邦子先生の猪苗代兼載についての講演であった。猪苗代兼載は室町時代に猪苗代湖天神浜の小平潟に生まれ若干十二歳で連歌会に出席して頭角を現し連歌師として名を残した人物である。地元猪苗代では歴史的に三大偉人の一人としてその功績を讃え顕彰して行こうという会もあり、八年前には没後五百年の記念句碑も天満宮の近くに建立された。

29年度の支部総会は例年通り11月23日勤労感謝の日に開かれた。今年度の当番は吾妻地区で会場は中ノ沢温泉大阪屋旅館で行われた。来賓として本部の千葉宏先生、猪苗代地区保護者会長栗田俊雄氏をお迎えし会員180名中32名の出席があった。

毎年傘寿を迎えられた会員にお祝いを贈呈してきた

いる。

支部長長尾景星(高15回)記

河東支部

「待望の河東支部旗完成」

第36回総会は、7月22日広田駅前「おおたや」に於いて、本会より、太田幹事長をお迎えし、開催しました。

初めに物故者への黙祷を行い、校歌の斉唱に続いて支部長の挨拶があり、恒例



の事業となつている新ソバ会や河東中学校からの合格者への記念品贈呈が同窓会事務局の小林先生を通して会津高校校長室にて7名の卒業生にあつたことが報告されました。

太田幹事長からは、協賛金で、母校の合唱コンクール全国大会等への助成ができたこと、創立130周年を迎える準備に入つたことが報告されました。

支部結成以来35年の節目を記念し、総会出席者のカンパにより、河東支部旗を製作し、なお一層の盛り上りを確認しました。

続いて総会に入り、議長には高31回卒の内山嘉昭さんが選任されました。平成29年度の事業報告や決算報告が承認され、平成30年度の事業計画、予算が満場の賛同を得て決定されました。

総会終了後は、支部旗を囲み、記念撮影をし、懇親会に移り、高11回卒の渡部好昭先輩の発声で乾杯し、近況報告をし合い、散会しました。

笠井 武彦(高17回)記

湯川支部

平成29年度湯川支部総会は、11月25日喜多方市塩川町の「粋旬」を会場として開催されました。

来賓として、同窓会から須田敬副会長(塩川支部長)、塩川支部から齋藤正之幹事長をお迎えし、支部会員20名のもとに行われました。

物故会員への黙とうの後、会津中学校及び会津高等学校の校歌をそれぞれ斉唱し、高橋新(高15回)支部長あいさつ、須田副会長の来賓祝辞が行われました。

総会終了後の懇親会では、日頃なかなか話すことのできない同窓生が集う貴重な機会ともなり、時間が経つのも忘れ、近況報告、高校時代の懐かしい思い出、湯川村の将来についてなど、大変良き情報交換の場となり、盛大に盛り上がりしました。

懇親会の締めくくりには、元応援団員の遠藤弘(高27回)、坂内真隆(高40回)及び元音楽部部長の鈴木定

(高34回)の3会員連携による絶妙なるリードで、恒例のエール、凱旋歌の唱和により、会員相互の絆を確認しながら閉会しました。幹事長菅沼弘志(高29回)記



福島県立会津高等学校同窓会湯川支部総会

「蜂・わが人生九十二年」

畑敬之助・洋子ご夫妻出版記念

平成30年6月3日(日) 会場・会津若松 割烹萬花楼

大竹忠信(高11回) 記

畑敬之助先生(中49回)は昭和27年東北大学を卒業されその年に会津高校の教員になられ、会津高校端艇部監督に就任されました。会津高校の勤務期間は13年間ではありましたが、その間に当時低迷していた端艇部の再建に取り組みました。監督に就任された昭和27年の第7回国民体育大会(福島県荻野)で見事フィックスで全国優勝を成し遂げたのです。次に昭和30年の第3回全日本高校選手権大会(荻野)のフィックスで全国優勝・さらに昭和37年(第10回)全日本高校選手権大会(琵琶湖)のナックルフォアで全国優勝と合せて3回の全国制覇を達成されました。昭和39年の東京オリンピックではシェルフアで本校端艇部出身の相田秀晃(高14回)が日本選手権選抜代表として活躍しました。畑先生はこれらの足跡を残して、惜しまれながら退職されました。

先生は平成28年10月秋月梯次郎顕彰会(会長畑先生)を文化センターで開催した時転倒し骨折されました。以来ベッド生活を余儀なくされ自宅と芦ノ牧リハビリセンターで療養に努めて来られました。洋子夫人は看護の傍ら畑先生の既発表の原稿などの整理編纂をすすめられ、このほど歴史春秋社から畑敬之助著「蜂・わが人生九十二年」を出版されました。(平成29年12月26日)「蜂」



は第一部「会津人画像」第二部「会津大学」第三部「余録」の三部構成になっています。「余録」の二章に「一艇一心に思う」という部分があります。「一艇一心」とは一艇ありて一人なく一人ありて一艇

なきをいう。「一艇一心」は艇を速く走るための実学と同事に、オアズマン(ボートマン)の生活哲学である。」と記述されてあります。畑先生のこうした教えのもとと会津高校端艇部部員全員が「一艇一心」の精神を共有し「スポーツ・ボート」を通じて練習に励み切磋琢磨し精進しあつたことが過去4回の全国制覇に繋がったのです。

このことを畑先生は「蜂」の中で私の人生にとって最も誇らしい思い出と記述されています。これまでの会津高校端艇部の功績は会津高校正面玄関向いの庭に「一艇一心」と刻まれた碑に刻み込まれてあります。

出版祝賀会は端艇部でボートを通じてお世話になった有志が、畑先生の功績を称えるとともに「蜂」の編纂にあたられた洋子夫人のご尽力に感謝して開催することになりました。祝賀会は平成30年6月3日(日)萬花楼で開催されました。畑先生ご夫妻が参加者25名の大きな拍手に迎えられ、主賓席にお着きになりました。先生は「おおこんなに多勢のみんなが来てくれたか」と言ってお喜びしていました。参加者の中には50年60年振りにお会いする人もおられました。皆会端艇部のオアズマンだったので、荻野での猛練習や合宿のメシなどを思い出し、先輩後輩を問わず一つになりました。式では発起人大内莊久(高11回)慶応大学端艇部元監督が挨拶の中でこれまでの経緯について説明され、みなさんに感謝の念も加えて話しました。祝辞は坂内孝成様(高8回・昭和30年全国大会優勝早稲田大学ボート部OB)と相田秀晃様(高14回・昭和39年東京オリンピックボート競技シェルフアの日本代表)のお二人からいただきました。お二人は尊敬する畑先生ご夫妻のご長寿を祝い、多岐に渡つての功績・偉業を称え、これまでお世話になったことへの思いを熱く語られました。相田様は大学卒業の年就活に乗り遅れ、畑先生を頼り面接試験だけで超一流企業に就職出来たことのエピソードなども話されました。

会津高校端艇部後援会会長佐賀雄雄様(高23回)からはこれまでの畑先生の後援会へのご支援に感謝され「これからもお元気でボート部員の活躍を見守って下さい」

とのスピーチもありました。会からの記念品として、吉田喜助様(高5回・第7回福島国体の優勝選手)から、クラシックメロデー入力のかけ時計目録をお贈りしました。花束贈呈は藤村正巳(高11回)の夫人レイ子様にしていたいただきましたが、洋子様は生花の師範なので特別豪華な花束にいただきました。

畑先生からのご挨拶では50年60年振りの参加メンバーを懐かしみつつ、この祝賀会を企画した我々にも心からのお礼を頂きました。

乾杯の音頭をとっていただいた岸喜志郎様(高6回・第7回福島県国体で全国優勝の中心メンバー)から畑先生ご夫妻には、これからも白寿はもとより茶寿、皇寿までも長生きして下さいとの言葉がありました。祝宴に入ると岸様のハートモニカ伴奏で、会端艇部数え歌をはじめ、畑敬之助作詞会高第二応援歌、「かの群小を凌駕して」を参加者全員で歌い「一艇一心」の思いに馳せました。最後に萬歳三唱を小椋厚様(高8回・昭和30年の全国大会優勝)の音頭で声高らかに、閉会になりました。



中51回

折笠 常弘 記

88歳の6人は、偶数月の第3金曜日5時半に若の井食堂に参会。政経から健康まで、戦中4年の思い出を交えて放談しています。

中52・53回

「懐しき事」

浦野 一郎 記

五三会の例会は毎月十二



福島辰巳会（会津中学・昭和20年3月卒・第51回）
H 29.10.20 撮影 薄上賢一郎 目黒實
折笠常弘 塚原喜智 佐藤昌志 山口 関



会津五三回 平成30年4月12日 萬花樓
上段左より 渡部欣一 飯田耕治 小林栄二郎 浦野一郎
下段左より 岩本綾平 赤城良一 桑間恒雄 遠藤 孝

日、萬花樓で今でも続けている。宴酣^{はん}になるとお定

秋の澄んだ空はまだ覚えて

この話の後、一人が車で東鳳の側から上ってそれら丸太の山も道も全く分からなかった、ただ懐しかったと言った。そんな事がいくつもあった中学校時代が過ぎ、戦後復興は進み、そして遂に平成も終わる。世の人達の言う卒寿という歳になったのだ。

今まで生きて来れたのは、両親から丈夫な身体をもらい、中学校で強固な魂を享けたからなのだと思います。「飯盛山に鎮まれる若き義人」に触れる機会もありません。秋九月白虎隊墓前祭で焼香し、剣舞奉納を拝しあの魂を我が身に蘇らせたい。だが、もう現場に行くには身体が言う事を聞かなくなってしまう。

毎朝夕望んだ壮大な城東の杜を、更に想いを込めて懐しむ昨今である。

中55回・高2回

「米寿を迎えて」

真壁 正 記

月日の経つのは早いもので、あつという間に米寿を迎え、自分なりにびっくりしている。

ところで、同期生に神奈川県藤沢市片瀬海岸に居を構えている高島良太郎君の生涯学習の一端を紹介する。

彼は旅行&山歩きや旧道歩きをしており、イザベラ・バードの道（日本奥地紀行）歩きもしている。

今回は羽前小松く赤湯く

上山を歩いてきたが、この辺りは置賜地方と言い、バー

が進み途中から意識が薄れ目が覚めたら一張羅にネク

想郷と称したところである。現在も穏やかな風景の田園が広がった所なので、更に訪ね歩きたいと述べている。

成三十年五月十七日の一夜でした。

どんなに年を取っても、情熱と好奇心とに燃えてる限り、その人は青春なのだ。

まさに、この言葉どおりの人生が高島君であろうと思わずにはいられない。

さて、米寿を迎えての祝いの集いについては、未だ具体化はしていないが、十月紅葉の頃、呼びかけ誘い合っ

て集い合い、杯を傾け青春時代の思い出を語り合い長寿の喜びをわちあいたいものと思っている。是非実現するよう願っている。

高4回

「二年ぶりの高四回」

五十嵐 明 記

八十五歳の同期会で二十九名の出席でしたので、幹事としてはまあ上出来と自己満足しています。

二次会三次会と楽しく杯



祝 秋30年 会津高島同窓会

南町通り高下駄カラカラと

川井功喜（神指）

野球部の練習も暑かったな

木鋤憲一（一箕）

数学の時間友にノート借用

葛岡憲一（ザベリオ）

あれから六十年白髪増えた

小平勲（若一）

高校生の時代に戻りたい

佐藤紘一（檜原）

三星荘が俺を悪くも良くも

佐藤節男（神指）

会津高校で良かった

佐藤孝雄（若三）

テニス漬けの日々だった

佐藤司（若三）

仮装行列で会女生にもてた

佐藤洋（塩川）

端艇部の教訓今に役立つ

齊藤英機（若四）

修学旅行京都の夜の楽しさ

鈴木正敏（一箕）

部活なし、滝沢峠の通学路

鈴木良助（川桁）

全・ボート三位今の健康源

田中四郎（湯川）

勉強は石膏デッサンのみ！

高橋庄作（門田）

バレーボール毎日が排球部

番場俊元（ザベリオ）

天に星地に花会津は三六会

福田徹（若三）

甲子園に応援に行ったなあ

宮崎禮二（若四）

あの頃の夢、今も見ている

室井勲（若四）

稲刈り後赤とんぼの思い出

吉川直佑（若三）

栗村先生に感謝、お元気に



高14回

「14回卒は元気です」

早坂 嘉朗 記

昭和18年生まれを中心とする第14回卒（昭和37年3月卒）は、今年で満75歳になり、世にいう「後期高齢者」族となります。卒業生

名簿に記載された人数は、

三五二名で七クラスありま

した。このうち、鬼籍に入

られた方々は、同窓会名簿

等で数えたら六十三名でし

た。一クラスを超える人数

になりました。

生まれ、育った時代を考

えれば、みんな元気に生き

延びており、丈夫に産み育

ててくれた親に感謝するの

みです。

「還暦の祝い」、「古希の

祝い」も無事に過ぎ、次は

いよいよ「喜寿の祝い」を

企画する段階になりました

た。同期会などの会合に集

まった仲間の顔を見るとマ

ダダ元氣そうで、お酒も

そこそこいけます。

会津では、毎月25日に同

期会が開かれ、新そばを食べ

る会など工夫を凝らした企

画を立てて集まっています。

在京組は、故渡部房之助

君が残してくれた年一回の

「在京同期会」を今も継続

しています。毎回約30名の参

加があり、お互いの顔を鏡

にして、自分の「今」を確

認しあっています。

また、同期生の出身会社

の保養所を利用しての「箱

根での囲碁と湯治の会」も

10年来続けています。毎回

20名弱の参加があり、温泉

につかり、おいしい酒を飲

み囲碁とカラオケに熱中し

ています。

関西同窓会では、菅家君

が会長として活躍していま

す。六月の京都黒谷・金戒

光明寺での会津藩士の法要

慰霊祭に参加し、母校後輩

による剣舞奉納の激励等の

支援活動を続けています。

これらの会合の際には、

同期生での二次会も楽しん

でいます。

高19回

「合同古希の集い」

戸川 稔朗 記

去る5月19日、会津若松ワシントンホテルにおいて会高70名、会女48名が参加し「会高・会女19回合同古希の会」が盛大に開催されました。我々は戦後生まれの団塊の世代であり、卒業生は会高481名、会女547名です。本年の入学生240名の倍でし



た。住所の判明している会

高305名、会女334名

に案内を郵送し、そのうち

出欠の返信はがきが送られ

てきたのは366通でし

た。合同同期会は東京での

開催を含め今回で4回目

あります。司会は元磐梯町

議会議長の吉田長政君にお

願いし、全国新酒鑑品評会

で金賞を受賞した林恵子さ

ん（鶴乃江酒造杜氏）の純

米大吟醸「会津中将ゆり」

で乾杯を行いました。その

後は懇談に移り、各テーブ

ルで懐古談や、近況などを

語り合い大いに盛り上がり

ました。卒業以来52年振り

の再会の場面がいくつも出

現し、名札と顔を突き合わ

せ握手をする光景が各所で

繰り広げられました。スク

リーンにはプロジェクショ

ンマッピング「はるか」と

会女同窓会制作の「新しい

時代を生きた会津の女性た

ち」のDVDが映写されま

した。

時間のたつのは早いもの

で、名残惜しみつつ林誠三

郎中部同窓会幹事長の中締

めで会を閉じました。話は

尽きず2次会は「三十三間

堂」を貸切にし、ワンコイ

高21回

「恒例の望年会」

佐藤 孝一 記

平成29年12月2日に恒例



の2次会は好評でした。いつの間にか古希となり、次の会の開催を望む声も出ています。開催に協力頂いた在京同窓会の廣田・小野君たちに感謝申し上げます。元気でまた会いましょう。

の在京会津高21回生の「望年会」を浅草・魚眠荘で開催しました。今回も40名以上の出席で盛会でした。まだまだ現役で頑張っている人がいますが、最近の傾向は同級会に参加する人が増えてつつあることです。良いことです。会は「明治維新の正体」の著者鈴木木荘一氏の講演から始まり、自己紹介、オークション、二次会と充実した時間を過ごしました。オークションの売り上げは同窓会に協賛金として寄贈致しました。会津から現同窓会会長の新城猪之吉君や上野博久君や、19回生の小野彰先輩、会女の同期7名にも参加して頂きました。

高24回

「柳津会津会会長を祝う同級生だけの宴(うたげ)」

穴澤 耕二 記

会津会は明治45年に創立された会津松平家を核とした歴史ある会です。同級生の中でも群を抜き活躍しているNHK「あさイチ」のキャスター柳澤秀夫君がその第8代会長に就任することが決まり、そのお祝いをしました。昨年11月18日に創業九十年の老舗割烹・萬花楼に同級生が40名も参集しました。同級生のさらなる活躍と「もう少し頑張ろうではないか！」という願いを込めた交流会です。柳澤君は会津藩の末裔であり、NHK解説委員長の要職も朝(あさ)飯前でこなし、「あさイチ」に大抜擢された秀才です。

この企画は鈴木クリニックス開業医の鈴木毅先生を頭に新潟経営大学講師の浅川啓一先生、そして事務局に会津地区経営者協会の小生穴澤で「発起人三人会」を

結成したことが功を奏したようです。

サプライズには会津松平家14代当主の松平保久氏より葵の紋所の入った書簡にてお言葉を賜り(同級生の間では御宸翰と噂するもの多し)、結びに殿から「皆々、益々忠勤に励めよ」の激励メッセージが披露され目頭を熱くしました。



高28回

「伊勢神宮で還暦の御祝い」

安部井省治 記

平成29年は我々高校28回卒の還暦の年でした。毎年5月に行っている28回卒有志による旅行は、奮発して伊勢・志摩観光を11月11日から13日の2泊3日で行ってきました。伊勢神宮の外宮、内宮を回り内宮で還暦の御祝いをし、思い、不思議なパワーを感じてきました。

生まれてから十千十二支一回りの区切りで参加者10名は、会津から福島空港、伊丹空港へ飛んで、近鉄特急で伊勢志摩へ向いました。1泊目は鳥羽国際ホテル潮路亭で、2泊目は有名な志摩観光ホテルクラシック館でした。そこで、サミット会場を見学しましたが、料理も抜群で、鮑のステーキや国産牛のステーキなどコース料理を堪能してきました。またいつか行きたいものです。

来年は会女との3回目の

合同同期会を開催する予定です。28回卒の皆さん連絡が行くと思いますが皆さんの多数の参加をお待ちしています。



「会長杯」

第10回ゴルフ大会・第9回囲碁大会・第7回将棋大会

今年度も各部門における役員の方々や、参加者のご協力により、楽しい大会にすることが出来ました。

ゴルフ部門は昨年以上の182名の参加で大盛況となりました。囲碁部門には25名の参加でしたが、久しぶりに渡部恒三さんも出席して場を盛り上げてくださいました。将棋部門には、9名の参加でしたが、

今年は二十代から2名の参加者があり、しかも、恩師達をなぎたおして優勝しました。

今年度もたくさんの企業からたくさんの商品を提供していただきました。

おかげさまで表彰式と懇親会も大いに盛り上がりました。深く感謝申し上げます。

ゴルフ大会



ゴルフ大会恒例日、連休後半の5月5日五
月晴れの中、棒と丸い物さえあればスイング
したくなり、大地に穴が開いていけば入れた
くなるゴルフ大好きな182名の多数の同窓生のご参加を仰
ぎ第10回の記念大会は盛大に開催されました。このコン
ペで気心知れた同期でのラウンドを、皆様毎年楽しみに
していただけるようになり幸いと存じます。

我々高27回の面々は2回目の幹事学年となり、太田幹
事長のお力を仰ぎ準備もスムーズに進行し、皆様各企業
様からは多数の賞品をご協賛いただき心より御礼申し上
げます。

終了後の中の島での表彰式も盛大に開かれ、今年は特
別に参加者全員でくじ引きの上、新城会長の抽選によ
り第10回記念特別賞のPET・CT検査診察券が贈呈されまし
た。パーティーも30位以上と特別賞のみの読み上げとし
て、皆さんでゆつくり歓談できる時間を優先とさせて頂
きました。今年は女性の参加者がおらず、来年こそ女性
の同窓会生が皆に交じってラウンドする姿を楽しみにし
ております。

今後のゴルフ大会が益々隆盛に開催されますこと祈念
申し上げます。

個人優勝



第10回「会長杯」ゴルフ大会成績

個人優勝	一條敏武（高19回）
団体優勝	高19回 （一條敏武・大桃清蔵・吉田長政）
10周年特別賞	（竹田綜合病院協賛PET） 目黒啓之（高40回）

畔越 大輔（高27回）記



団体優勝 高19回





囲碁大会

今年も、盤上に頭脳の火花が飛び散った。五月五日、会中・会高同窓会囲碁大会がルネッサンス中の島で開催された。近々九〇歳の松本肇氏（中五一回）、会津の黄門様こと渡部恒三氏（高三回）をはじめ二五名の方々が参加された。開会式では戸川稔朗（高一九回）副会長からご挨拶をいただきました。

試合は、四段以上のAクラスと三段以下のBクラスに分かれ、スイス方式により順位を決定。通常の置石のほか、逆コミ三目半という上手に苛酷なハンデ戦である。

Aクラス優勝は、ハンデ戦にも拘わらず、八段の杉原一成氏（高二六回）。昨年に続き二連勝。県アマ囲碁界トップクラスの実力者は格が違う。Bクラス優勝は、三段の戸川兼一氏（高二〇回）。現在、新店舗建設中につき勝利の女神の開店祝いかな？

熾烈な戦いの後は、将棋の部と合同で、表彰式となり、新城猪之吉（高二一回）会長からご挨拶をいただき、成績発表と表彰式が行われた。

次に懇親会に入り盃を酌み交わすなかで同窓生の交流が深まった。

紅一点の久力奏音（高六一回）副幹事長が司会を担当し、審判長は前述の杉原一成氏でした。同窓会役員をはじめ、数多くの賞品をご提供下さった同窓生の協賛に感謝いたします。そして、総監督兼率先実働要員の千葉宏（高八回）先生のご尽力にも感謝いたします。実行委員長皆川義男ほか、川島道雄、古宮正雄、福西宜孝の高校一九回卒がお手伝役を担当しました。

来年は、「まだ還暦を迎えない若手」の参加に期待！

福西宜孝（高一九回）記



対局中の渡部恒三氏（右）と齊藤正之氏

囲碁成績上位者					
Aクラス（四段以上） 一四名参加			Bクラス（三段以下） 一一名参加		
優勝	氏名	段位	卒業	氏名	段位
優勝	杉原一成	八	高二六回	戸川兼一	三
準優勝	金澄卓	六	高二四回	平出達朗	三
三位	稲田盛夫	七	高七回	真壁正	初
四位	皆川義男	五	高一九回	穴沢卯三郎	三
五位	万波憲一	四	高二五回	渡部恒三	初
特別賞（祝卒寿）			松本肇（二段 中五一回）		
			高三回		



会場風景



Aクラス優勝者・杉原一成氏

将棋大会



5月5日、ルネッサンス中の島にて将棋大会が行われました。私は一昨年、初めて出場させていただき、今回が2回目です。前回は同世代の方がいませんでした。今回は高木厚成さん（高60回）が加わり、二十代が2名となりました。大会は午前中から昼食を挟んで計5局指して勝数を競い、その後、囲碁大会と合わせて表彰式及び懇親会を行うという流れです。私は高木さんに負けて4勝1敗でAクラス3位となり、高木さんは5戦全勝で優勝となりました。大会と懇親会を通して、高校時代の恩師である千葉宏先生（高8回）と神山広志先生（高20回）、子供の頃に将棋大会でお世話になった佐藤中一先生（高3回）を含めたくさんの方とお話しし、存分に楽しませていただきました。小さなお子様からご年配の方まで、年齢を問わず楽しむことができ、幅広い年代の方々と交流を深められるのが将棋の良いところだと思っています。そういった意味で、同窓会将棋大会を開催することは有意義であり、今後も続いていってほしいと感じております。

後日談ですが、7月に行われたアマチュア名人戦福島県大会新規戦（三段以下の部）で優勝し、9月に東京で行われる全国大会に福島県代表として出場させていただくこととなりました。全国大会でも精一杯頑張って参ります。なお、準決勝と決勝の観戦記が9月下旬〜10月上旬頃、福島民友新聞に掲載予定のため、興味のある方はご一読いただけますと幸いです。

（山口 公康（高62回）記）

第10回「会長杯」将棋大会成績

Aクラス優勝	高木厚成（高60回）
Bクラス優勝	神山広志（高20回）

個人優勝



Bクラス対局風景



司会・久力奏音副幹事長

平成30年会高同窓会「会長杯」協賛企業様一覧 ご協賛に感謝申し上げます。

会津天宝醸造(株)
 (株)会津磐梯カントリークラブ
 会津ヤクルト販売(株)
 (有)畔越商店
 会津交通株式会社
 会津商工信用組合
 会津通運(株)
 (有)あいづ松川
 (株)会津コンタクト
 会津酒造(株)
 会津村
 (株)会津ガラス
 (株)安西商会
 いしかわ歯科医院
 稲川酒造店
 えんどうクリニック
 (株)エナジー
 大関家具店
 大塚漆器店
 株式会社 顕幸
 (株)幸楽苑ホールディングス
 コロナメンテナンス(株)
 (株)斉藤カメラ店

さくらクラブ
 (株)サポートワンあいづ
 白井酒造
 新栄食品(株)
 (株)翔榮
 末廣酒造(株)
 鈴善漆器店
 ゼビオコーポレート(株)
 セブンイレブン会津西七日町店
 セブンイレブン会津高瀬店
 ソースカツ丼の店 なかじま
 (有)高砂屋商店
 一般財団法人 竹田健康財団
 タカラ薬局
 高橋庄作酒造店
 ダイハツ福島(株)
 鶴乃江酒造(株)
 (株)塚原金物
 (株)東邦銀行
 名倉山酒造(株)
 (株)二丸屋山口商店
 ネットトヨタ郡山(株)
 ネットトヨタノヴェルふくしま(株)

花春酒造(株)
 林合名会社
 坂下清掃(有)
 磐梯酒造店(株)
 合資会社廣木酒造本店
 ベストゴルフ若松
 丸果会津青果(株)
 松浦商事(株)
 (株)丸庄工務所
 丸善商事(株)
 (有)米夢の郷
 (有)毎商會津
 (有)峰の雪酒造場
 ハツ橋設備(株)
 山本商事(株)
 (有)吉田工業所
 (株)リオンドールコーポレーション
 （敬称略・順不同）

事の始まりは市役所に入庁してからである。冬にチョットかじったスキーで他県のスキー場まで足を延ばすような、楽しむスキーをしていた。職場でスキークラブを創ることになり図らずもコーチとして参画することと相成ったのである。

相手に伝えるために自ずと練習をすることとなり、平成 8 年には山形県蔵王スキー場で指導員の資格取得もした。

あれから 22 年、細々とアルペンスキーの指導員をしていたが、ある時「ネイチャースキー」なるものに目が留まり、興味のまま研修会に参加した。これが目から鱗で、競わずにゆっくりと野山に身を置き自然の恵みを感じる至極の時間を経験した。冬の野山を駆け巡った経験のある方には説明は無用と思う。言うなれば「冬のピクニック」なのである。

背中のリュックにはチョコレート・クッキー・果物・おにぎり・水などの軽食や保存食を入れ、防寒に配慮しながら地図・コンパス・双眼鏡・ロープなどを持ち、スキー場外での活動である。

いざという備えの必要な場合もあるが、裏磐梯にある休暇村などはコースが設定されており迷うこともなく安全に歩くスキーを楽しめる。現在はネイチャースキー部長を仰せつかっている。

私たちの活動で毎年恒例となっているのは裏磐梯爆裂火口東尾根にある厳冬期限定のイエローフォール詣である。氷瀑ゆえ 2 月上旬から下旬にかけてが見頃である。裏磐梯スキー場のリフトを降りて山へ入り、凍った「銅沼（あかぬま）」を心地よく滑走し（一部に危険あり）右手に活発な水蒸気の噴出を確認しながら「もういいでしょう。」と登り切った所に見えてくる。

イエローフォールは地中の硫黄分や鉄分を含んで地下水が表出し凍ったもので普段は黄色い。平成 29 年は珍しくホワイトフォールも出現した。往復 3 時間程度で別世界が楽しめる特別なツアーである。我々はスキーを履くのが商売であるが、スノーシュー（西洋かんじき）を履く登山家の姿も多い。氷瀑にて喉を潤し、クッキーやチョコレートでエネルギーを補充して下山する。ほとんどがクロスカントリーの板裏にうろこ状の刻みがあるだけで、エッジもなくターンは不得手である。しかし、そこは、テクでカバーして無事レストハウスへもどっていただく。研修会に参加すれば、桧原湖に降りて氷上ツアーやワカサギ釣りを体験し夜の座学に向かうコースもある。

ネイチャースキー部の夏季研修会では、皆さんご存知のデコ平（グランデコススキー場）や猫魔ヶ岳や雄国沼を散策したり、三島町の志津鞍山、磐梯山なども訪ねている。

現在ネイチャースキー部員はクロカン競技やアルペン指導者の中でも自然を愛しスキーで冬を楽しむ者の集う所である。最近では中学校へ出向いて講習・検定も行っている。県連認定のネイチャースキー技能検定資格もある。

冬の厳寒期に外で過ごすことなど考えにくいものであるが敢えてご提案をしたい。Gaia（地球）の一部である私たちは春夏秋冬を通じ自然の営みを見つめることが必要であると思う。「小さい火は人を温めるが、大き過ぎる火は生活を破壊する」と、どこかで聞いたことがあるが、冬は人の非力であることを痛感すると共に生きていることを実感する良い機会でもある。雪上の動物の営みである足跡やリスによる「エビのしっぽ」を見つけてみてはいかがか？

驚きと発見はすぐその裏山にこそある。

妄言多謝



林 敬宰 プロフィール

1957. 2 (昭和 32 年 2 月) 生まれ 日新小・二中・会津高・弘前 (農) 卒業
1979. 4 (昭和 54 年 4 月) 会津若松市役所入庁 (土木職)
2017. 3 (平成 29 年 3 月) 定年退職 (2018. 3 再任用終了)
現 福島県スキー連盟教育本部理事 ネイチャースキー部長
東山地区天寧区長
会津弘大会幹事



平成 29 年「やすらぎの碑」献花祭に参加された方々



平成 29 年 総会における懇親会風景



平成 30 年 会報編集作業中

編集委員名

- 委員長 佐藤 紘一
- 会報主任 須藤 毅
- 会報副主任 齋藤 勝泰
- 会計 伊藤 顕
- 校内担当者・棚木 武彦
- ・上野 忠義
- ・齋藤 正志
- ・室井 真仁
- ・馬場 淳平
- 顧問 佐藤 隆夫
- ・千葉 宏

(同窓会幹事長 太田伸)



第2回 編集委員会 (8月17日) 参加者

編集後記

会報48号をお届けします。

今回も同窓生各位の活動状況を中心に現在の学校の様子もお知らせします。

私事ですが、先日学而会出版委員会から依頼されて高校時代の思い出を話してきました。その時、昭和33年から36年までの三年間、我々が会津高校で過ごした日々を振り返ってみました。すると、今の自分の考え方や行動や趣味が高校時代に起因しているように思われてきました。考えてみると、多感な高校時代を過ごした多くの同窓生にも当てはまりそうです。だからこの同窓会に集い、自己確認をしているのではないのでしょうか、などと勝手に思い込んでいます。

そこで、我々の「根っこ」にも当てはまる在校生や現職の方々から、現在の会津高校の様子を報告していただきました。

全国大会七年連続金賞の合唱部をはじめとして、バスケットボール部や学而出版委員会やアメリカ研修をしてきた齋藤さんの報告など、躍動している在校生の姿を知ることが出来ました。過ぎ去ってから気付くことの多い人生ですが、在校生諸君も将来、「あの高校時代が良かった。」と言えるような日々を送ってほしいと願うばかりです。貴重な玉稿をお寄せくださいました同窓生は勿論、広告を出していただいた多くの企業にも深甚なる感謝を申し上げます。

編集委員長

佐藤 紘一 (高13回)

印刷所 (株) 丸八

会津若松市馬場町一四一
〇二四二二二一四二二
FAX 〇二四二二二一四一五三